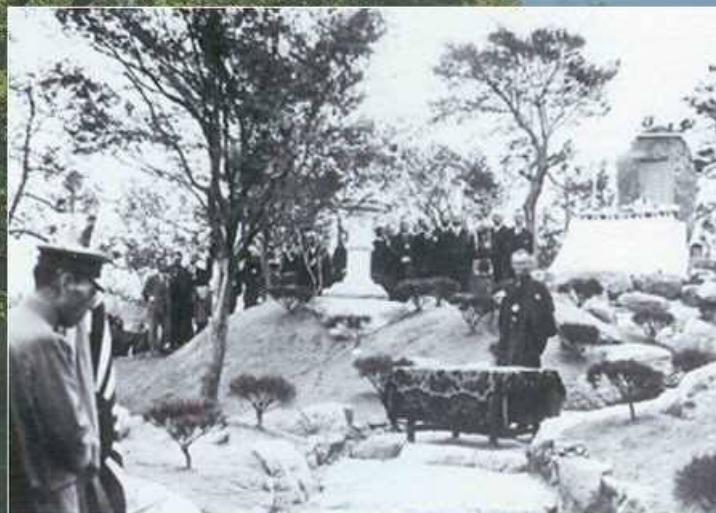




## 和宮の例祭

1 / 9



除幕式の様子

昭和4年の遺蹟造営以来、毎年、春と秋に皇女和宮例祭が行われています。

こうした遺蹟の造営や、宮様の遺徳を偲ぶ例祭を行っているところは、

中山道69宿ある中で唯一、瑞穂市の呂久だけです。

この90年間、欠かすことなく行ってきた例祭、通称和宮祭りについて紹介します。



## 和宮の例祭

2/9



4月に行う春の例祭をご紹介します。

春の例祭は小簾紅園が完成した4月26日を、例祭日として開催しています。

春は神事で行い、祭文や挨拶、「和宮奉贊歌」を斎唱して宮様の偉業をたたえます。



## 和宮の例祭

3/9

### 和宮春の例祭式次第

一開式のことば  
神事の儀

修祓の儀 神主一拝  
降神の儀 祝詞奏上

一一一  
閉和來斎昇玉斎獻祭  
式宮賓主神串主  
の奉あ一の奉玉樂文  
こ讚い拝儀奠串  
と歌さ  
ば斎つ  
唱  
奉  
奠

式次第



神事の様子



和宮奉讚歌齊唱の様子

平成29年度より、春の例祭は、呂久区民を中心とする例祭として、  
4月末の日曜日に開催しています。



## 和宮の例祭

4 / 9



次に秋の例祭についてご紹介します。

文久元年（1861）10月26日、和宮様が呂久川を渡船され、  
美しく紅葉する楓を愛でながら歌を残されました。  
この日を秋の例祭日とし、開催されています。



## 和宮の例祭

5 / 9

和宮秋の例祭式次第

――――――――――――――――  
閉和來會導獻土獻燒讀導獻コ開  
式宮賓長師吟鈴樂香經師燈一式の辭  
の奉ああ退 奉 燒 香 ラス  
辭讀いい場 納 香  
歌ささ  
斎つつ  
唱



増上寺代表のあいさつの様子



献吟の様子

式次第

秋は仏式で行い、東京の増上寺代表の出席と多くの来賓をむかえ、  
和宮様の法要を通して宮様の遺徳を偲ぶ会となっています。



## 和宮の例祭

6/9



植樹のご様子



式典関係者と



当時の岡田巣南町長と

節目となる年の秋の例祭には、皇室や徳川家からも御出席を賜り、開催してきました。

昭和51年、和宮様の100回忌となる年には、秩父宮妃殿下の御臨席を賜り、  
例祭を開催しています。



## 和宮の例祭

7 / 9



12年後の昭和63年には、第18代徳川宗家御内儀 德川幸子様に  
ごないぎ  
御出席をいただき開催しました。



## 和宮の例祭

8 / 9



90年の間続けてきた例祭も、時の流れと共に変化がありました。

さぎた  
鶴田郷土史などの記録によると、初期には、近郷の俳人が集まり、

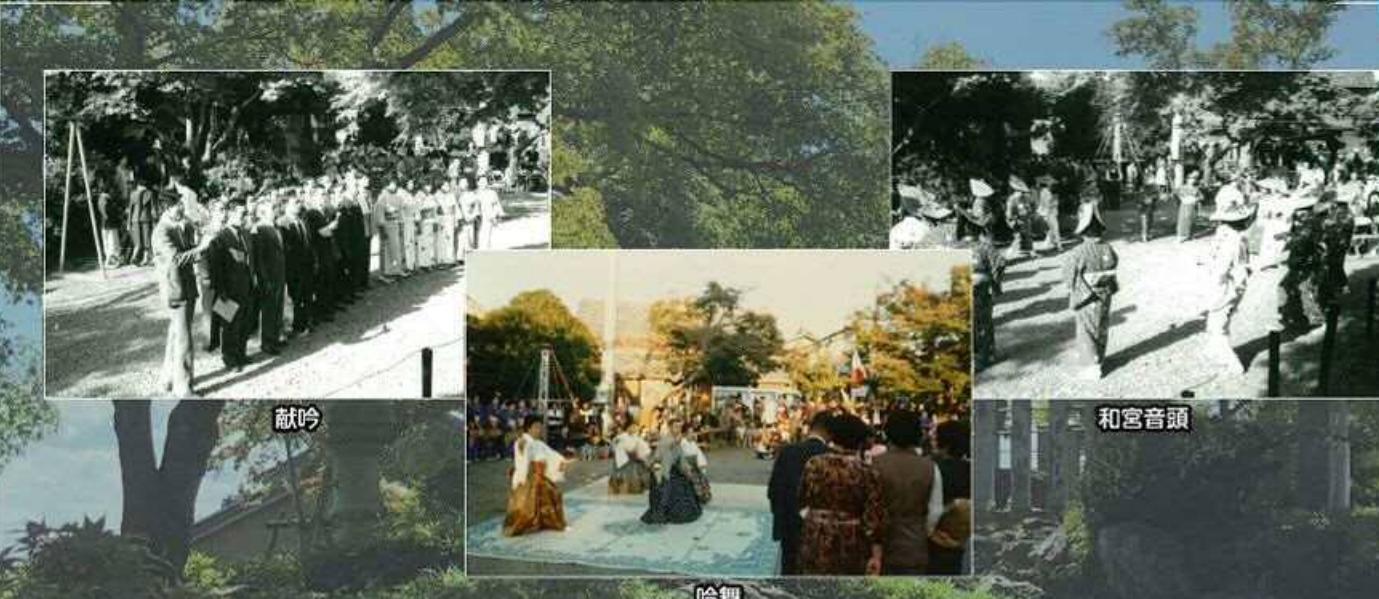
宮様の遺徳を題とした琵琶歌や朗詠が行われていました。

昭和40年代から、巣南町の文化研究会の会員による、短歌や俳句などの献句がありました。



## 和宮の例祭

9/9



平成にはいり、遺跡保存会が中心となり例祭が開催され、詩吟保存会や舞踊保存会が  
献吟・吟舞、和宮音頭の奉納を行うようになりました。

近年、少子高齢化による担い手不足の課題がある中、教育委員会の援助と  
市内の各種団体の協力を得ながら例祭を開催しています。